

## 徳島市立徳島城博物館 企画展の開催

# 冬の企画展「阿波の武士 侍ヒストリー」

会 期

令和7年11月29日(土)～令和8年1月25日(日) 9:30～17:00(入館は16:30まで)

### 注目ポイント

- ◇大名蜂須賀家や家臣などに関わる資料を通して、江戸時代の武士について理解を深める展覧会
- ◇ 徳島藩蜂須賀家は大坂の陣で活躍。大坂の陣に関わる武器・武具は、蜂須賀家の武の伝統へ
- ◇ 大石内蔵助が、討入り前日に記した書状は、徳島藩家老の子、三尾豁悟に内情を語る。討入りは、江戸時代中期の武家社会に忠義や武士道を喚起
- ◇ 文武両道に秀で、郡代として活躍した高木真蔵関係資料からは武士の実像がうかがい知れます。

## 徳島市立徳島城博物館 企画展の開催

# 冬の企画展「阿波の武士 侍ヒストリー」

### 展覧会の詳細

- 1 会 期 令和7年11月29日(土)～令和8年1月25日(日)  
午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)
- 2 休館日 毎週月曜日(ただし1月12日は開館)、12月28日(日)～1月2日(金)、1月13日(火)
- 3 会 場 徳島城博物館 企画展示室
- 4 出品数 約60点
- 5 入館料 大人300円 高校・大学生200円 中学生以下無料 ※20名以上の団体は2割引

## 徳島市立徳島城博物館 企画展の開催

# 冬の企画展「阿波の武士 侍ヒストリー」

### 主な出品資料

#### 「萌葱糸威二枚胴具足」(徳島城博物館蔵)

5代藩主蜂須賀綱矩の嗣子吉武所用。兜は中国の役人が用いた冠を模して作ったものとされる「唐冠形兜」。

初代藩主至鎮が大坂冬の陣で着用し活躍したため、歴代藩主は、その武功にあやかろうと、この兜を造り続けました。

大坂の陣に関わる武器・武具は、蜂須賀家の武の伝統へ

問い合わせ先 徳島城博物館(電話:088-656-2525)



## 徳島市立徳島城博物館 企画展の開催

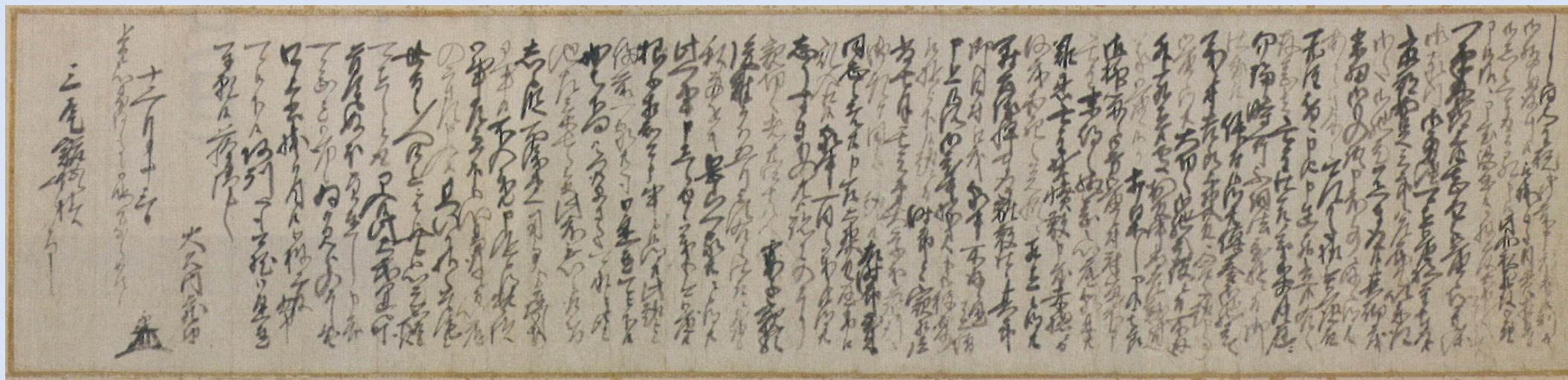
# 冬の企画展「阿波の武士 侍ヒストリー」

### 主な出品資料

#### 「大石内蔵助書状」(個人蔵)

討入り前日、元禄15年(1702年)12月13日の書状。徳島藩家老の子、三尾豁悟宛。討入り決行を告げます。文末に「阿州へも御通達しかるべく頼み奉り候」と記され、阿波との関わりが注目されます。

討入りは、江戸時代中期の武家社会に忠義や武士道をあらためて喚起しました。



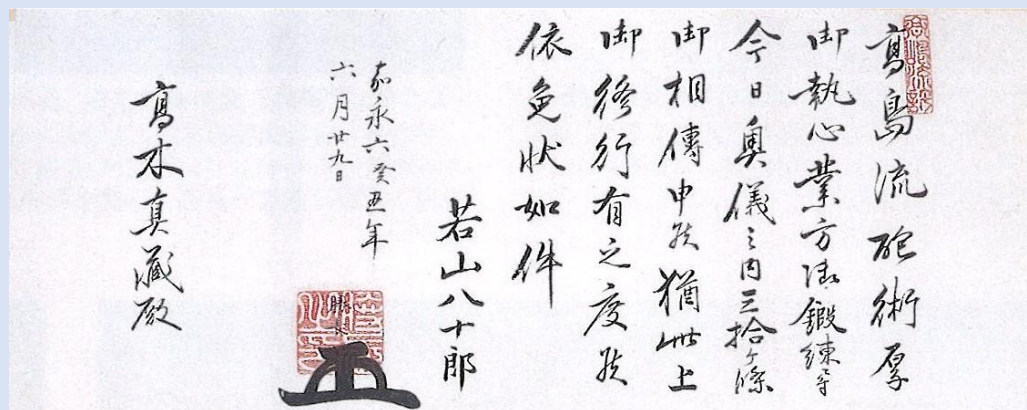
問い合わせ先 徳島城博物館(電話:088-656-2525)

## 徳島市立徳島城博物館 企画展の開催

# 冬の企画展「阿波の武士 侍ヒストリー」

### 主な出品資料

#### 「高島流砲術奥義三拾ヶ條免状」(個人蔵)



嘉永6年(1853年)に、徳島藩士で高島流砲術師範若山八十郎から、高木真蔵が受けた免状。

高木真蔵は阿波の名郡代として名高い人物ですが、砲術や剣術、弓術、馬術等を学ぶとともに、文芸に興味を持ち、各地で俳句を詠んでいます。

文武両道に秀で、行政官として活躍した高木真蔵の事例からは多様な武士のあり方がうかがい知れます。

## 徳島市立徳島城博物館 企画展の開催

# 冬の企画展「阿波の武士 侍ヒストリー」

### 関連イベント

- ◇記念講演会 「阿波の武士 侍ヒストリー」  
日時:12月14日(日)午後1時30分～午後3時  
講師:根津寿夫(当館主任指導員)
- ◇展示解説  
日時:12月14日(日)、1月18日(日)  
午後2時～午後3時  
講師:根津寿夫(当館主任指導員)

※参加費無料、ただし入館料が必要です。



問い合わせ先 徳島城博物館(電話:088-656-2525)